

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

| Platinum | Price | Date |
|----------|---------|-----------|
| Open | 1185.50 | 2021/5/31 |
| High | 1208.63 | 2021/6/1 |
| Low | 1144.57 | 2021/6/4 |
| Close | 1167.00 | 2021/6/4 |

円建て 円/グラム

| Platinum | Price | Date |
|----------|---------|-----------|
| Open | 4187.60 | 2021/5/31 |
| High | 4249.50 | 2021/6/2 |
| Low | 4052.30 | 2021/6/4 |
| Close | 4108.00 | 2021/6/4 |

ドル建て ドル/TOZ

| Palladium | Price | Date |
|-----------|---------|-----------|
| Open | 2825.00 | 2021/5/31 |
| High | 2872.00 | 2021/6/2 |
| Low | 2797.00 | 2021/6/3 |
| Close | 2847.00 | 2021/6/4 |

円建て 円/グラム

| Palladium | Price | Date |
|-----------|----------|-----------|
| Open | 9971.00 | 2021/5/31 |
| High | 10116.00 | 2021/6/2 |
| Low | 9873.00 | 2021/6/3 |
| Close | 10014.00 | 2021/6/4 |



ニュースエクスプレス

独ヘレウス社による5月31日付プラチナ・レビュー

水素経済におけるプラチナ需要は、短期的にはプラチナを使ってグリーン水素を製造する電解装置の需要、そして長期的には工業や運輸分野の脱炭素化のための需要にある。

グリーン水素は「欧州グリーン・ディール」の中心的な柱となっており、電解装置の需要は増え続けている。米カミンズ社と大手エネルギー企業の西イベルドロウ社は、共同で、さらにスペインの5000万ユーロ規模のプロトン交換膜電解装置工場を含むグリーン水素プロジェクトに着手すると発表。同工場は年間1GW以上を製造することができ、世界最大のグリーン水素製造施設の一つとなる。

水素セクター（自動車燃料電池、電解装置、工業用途）におけるプラチナ需要は、今年は140キロから190キロ近くの需要増が見込まれており、その後も長期に渡って増え続ける予測である。今年のプラチナ価格は、水素経済の成長と、自動車三元触媒でパラジウムの代わりにプラチナが使われて余剰分が減るといった期待に支えられて好調だが、短期的には多少下がるかもしれない。

出典: Heraeus Precious Appraisal- Market Spotlight Report issued on May 31, 2021

ジョンソン・マッセイの最新の白金族需給調査報告書「Pgm Market Report May 2021」

ジョンソン・マッセイの最新の白金族需給調査報告書「PGM Market Report May 2021」によると、自動車触媒需要は27%増加するものの、2021年のプラチナ市場は供給過多に戻ると予想される。コロナウイルスによる混乱が収まり、また処理設備の稼働停止により蓄積した仕掛品が処理されるため、南アフリカのプラチナ供給は40%近くの急回復を示すだろう。プラチナ価格の上昇により日本の投資用地金需要は2021年初めにマイナスに転じ、上場投資信託（ETF）への投資も抑制された。中国の小売業者は2020年後半にプラチナ宝飾品の在庫を増やしたが、金との価格差が縮まったため、販売量は鈍化している。

パラジウムとロジウムの市場は2021年も引き続き供給不足のままであろう。両金属とも2021年初めに過去最高値を記録。パラジウム価格は3,000ドルを超え、ロジウム価格は30,000ドルへの急騰を繰り返した。価格高騰に対処するため、自動車会社は一台あたりの使用量の削減やパラジウムからプラチナへの置き換えのプログラムを加速させ、ガソリン車の自動車触媒で使用されているこれらの貴金属の低減に努めている。しかしながら自動車生産が回復し、主要市場では排ガス規制の強化や走行試験の厳格化が進んでいるため、2021年のパラジウムとロジウムの自動車触媒需要は二桁の伸びを示すであろう。

ジョンソン・マッセイの市場調査担当ディレクターであるルーベン・ライタは以下のようにコメントしている。「多くの地域における排ガス規制の強化や、欧州における実路走行（RDE）試験の実施により、触媒システム全体での白金族含有量は依然として上昇しています。全世界ほとんどすべての自動車会社が積極的な使用量の削減や置き換えのプログラムに取り組んでいるものの、触媒システム当たりの含有量の上昇はパラジウムやロジウムの需要を支えています。一方、自動車触媒中の白金族に占めるプラチナの割合は増加しており、ガソリン車向けのプラチナ需要は絶対量としてはまだまだ少ないながらも2021年は大きく伸びるでしょう。プラチナ需要はまたChina VI排ガス規制の段階的な導入による恩恵も受けるでしょう。China VIの排ガス基準を満たすには大型ディーゼル車向け触媒システムの大幅な変更が必要であり、今年の中国のディーゼルの白金族持量は三倍になると予想しています。」

ロシアでは二つの鉱山が浸水により一時的に閉鎖されたものの、2021年の鉱山からの白金族供給量（白金族の一次供給量）は大きく伸びるものと予想される。南アフリカからの供給は、昨年の処理工場の休止期間中に蓄積した約100万オンス（30トン強）におよぶ仕掛品が処理されることにより増加する見込みである。また価格の上昇により使用済み自動車触媒からの白金族リサイクルは促進されるが、ディーゼル微粒子捕集フィルター（DPF）の処理の技術的な制約により、プラチナのリサイクル量は制約を受けるだろう。

ルテニウムやイリジウムといった「マイナー」白金族の価格は2021年の初めに急騰している。これは産業用需要が強いこと、南アフリカからの供給が不安定なこと、また水素関連用途でこれらの白金族が使用される可能性に対する投資家の意識が高まっていることを表している。

<https://www.agara.co.jp/article/124541>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

6月1日-6月2日に、中国再生資源協会(PMIC)、中国黄金協会(PCCGA) プラチナ委員会とWPICが共同で上海プラチナウィークを開催。凡そ300人が現場に集まり、オンライン視聴者は4000人超え。写真集はこちらからご覧いただけます

<https://live.photoplus.cn/live/61101630?uniqCode=bWozSp3VAO&accessFrom=qrcode>

イベント詳細：<https://platinuminvestment.com/events/shanghai-platinum-week-2021>

https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/jp/WPIC_60seconds_Shanghai_Platinum_Week_JA.pdf



(@wpicjapan)

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。